

令和8年度

高階西小学校だより



学校教育目標 ～力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ～

令和8年7月1日

未来を生き抜く「感性」の根っこを育てる

1年生の子供たちが育てる朝顔がまぶしい光を浴びて大輪の花を咲かせ、校内は一気に夏の色彩に包まれています。毎朝「先生、花が咲いたよ！」と嬉しそうに報告してくれる子供たちの瞳は、きらきらとした輝きに満ちあふれています。

こうした華やかな生長の陰には、子供たちの地道な関わりがあります。4年生のヘチマ棚では、子供たちが汗をかきながら一生懸命に雑草を抜く姿が見られます。ただ水をあげるだけでなく、見えないところで土を整え、雑草を取り除くという丁寧な作業があつてこそ、植物は高くつるを伸ばすことができます。日々の学習や生活も同じです。一步一步の地道な積み重ねがあるからこそ、確かな成長という大輪の花が開くのだと、子供たちの姿から改めて教えられます。

また、さくら学級の畑に目を向けると、そこにはさらに豊かな実りが広がっています。経験豊富な学校応援団の方のご指導で、子供たちは多種多様な野菜の栽培に挑戦してきました。プロの知恵と愛情に支えられながら泥にまみれて育てた野菜は、どれも立派なものばかりです。先日、収穫したばかりのじゃがいもを使って、みんなでサラダやカレーを作りました。自分たちの手で収穫し、地域の方への感謝を感じながら味わう料理のおいしさは格別で、子供たちの笑顔には大きな自信が満ちあふれていました。

植物がそれぞれのペースで豊かな実を結ぶように、子供たちもまた、この1学期を通じて一人ひとりが自分の中に眠る「伸びようとする力」を精一杯に発揮してきました。

AI(人工知能)が急速に進歩し、あらゆる知識や答えが瞬時に手に入る時代を迎えています。だからこそ、これからの時代を生きる子供たちにとって、泥の匂いや収穫の喜び、仲間と味わうおいしさといった「五感を通じたリアルな体験」は何物にも代えがたい財産です。便利さの裏側にある「地道なプロセスの大切さ」を知ること、tenderly 自然の美しさや人の温もりに心を動かすこと——こうした「人間らしい豊かな感性」を磨くことこそが、これからの未来をたくましく生き抜く力になると確信しています。

1学期の締めくくりとなるこの7月、私たちは子供たちの目に見える活躍だけでなく、それを支えた地道な頑張りをしっかりと見つめ、温かく励ましていきたいと考えています。ご家庭でもぜひ、この数ヶ月間のお子様の歩みを振り返り、たくさんの「素晴らしいところ」を言葉にして伝えてあげてください。

写真

写真

写真

梅雨の晴れ間、「なかよしタイム」のオリエンテーリングを行いました。先生とじゃんけんをしてキーワードを集め、最後は「完成おめでとう！」の賞状を受け取ります。縦割りグループでの遊びを通して、協力することや折り合いをつける力を育むのが狙いです。上級生はリーダーシップを発揮しながら、下級生に思いやりをもって優しく接する姿が見られました。

写真